



連合長崎

Nagasaki Chikyo

# 長崎地協ニュース

No. 91

長崎市桜町9-6  
長崎県勤労福祉会館内  
TEL (095)827-3500  
FAX (095)826-8950  
2023年8月31日  
発行 西野輝夢  
責任者

## 連合平和行動(沖縄・広島・長崎)

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～

### 平和行動in長崎(8月8日)

#### 1. 連合2023平和ナガサキ集会

長崎県立総合体育館・メインアリーナにおいて、「連合2023平和ナガサキ集会」を連合主催、原水禁・KAKKIN共催、また後援として多くの団体(行政・大学・平和団体、NPO法人等)の賛同のもと開催し、台風の影響もありましたが、全国より約1,174名が集いました。

連合長崎 高藤義弘会長から核兵器廃絶の想いを込めた開会あいさつの後、連合 清水秀行事務局長は主催者代表あいさつとして、「今、世界が平和への歩みを続けることができるか否かを問われています。私たち一人ひとりが、改めて戦争の実相を学んだ上で、本日まで参加の平和団体や志を同じくする皆様とともに、国際的な運動をけん引していかなければならない」と訴えました。また、来賓と

して、長崎県 大石賢吾知事、長崎市 鈴木史朗市長、国際労働組合総連合(ITUC)郷野晶子会長からそれぞれ挨拶をいただきました。

引き続き、被爆者の訴えとして長崎平和推進協会継承部会の山田一美様から被爆当時の体験をお話いただいた後に、ナガサキ・ユース代表団と高校生平和大使よりそれぞれの立場での報告と決意表明がありました。

その後、「平和アピール」を連合長崎女性委員会柳迫美咲幹事が行い、平和4行動の象徴であるピースフラッグを、連合長崎 高藤会長より、連合北海道 藤森事務局長へリレーし、平和の思いを根室へ繋ぎました。

最後に「For the Peace of World」の合唱で、連合2023平和ナガサキ集会を締めくくりました。



平和ナガサキ集会



For the Peace of World



# 平和行動in広島(8月5日～6日)

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～

1945年8月6日、原子爆弾が広島に投下され14万人の尊い命が奪われました。連合は8月5日～6日に「2023平和行動in広島」を開催し、亡くなられた方々の冥福を祈ると共に、二度とあってはならない戦争の実相を後世に語り継いでいます。今年度は、連合長崎から12名が参加しました。

(1)参加者 連合長崎より12人  
長崎地協からの参加者  
吉村 清徳 幹事(基幹労連)

(2)内 容  
①被爆路面電車乗車学習会  
②連合2023平和ヒロシマ集会  
③連合・原爆死没者慰霊式  
④「平和の鐘」打鐘式



平和ヒロシマ集会



「平和の鐘」打鐘式

# 平和行動in沖縄(6月23日～25日)

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう～

沖縄県は6月23日を太平洋戦争における沖縄戦の終結した日として、慰霊の日に制定しています。この慰霊の日にあわせ、連合は6月23日～25日に「2023平和行動in沖縄」を開催し、連合長崎から21名が参加しました。

(1)参加者 連合長崎より21人

(2)内 容  
①連合2023平和オキナワ集会  
②フィールドワーク



平和オキナワ集会



フィールドワーク

# 第94回長崎地区メーデー/ 4年ぶりの大規模開催!



連合長崎地協・長崎地区労・同盟友愛連絡会・中連懇話会の労働四団体で構成する長崎地区メーデー実行委員会は、5月1日(月)長崎水辺の森公園・三角広場で第94回長崎地区メーデーを開催し、1,600人の仲間が結集しました。

メーデー式典では、冒頭、塩田淑文実行委員長(連合長崎地協議長)が主催者あいさつとしてメーデーの歴史と意義及び次の3点について触れ、

▼私たちは今、足元の危機的事態において、連帯の輪で、連帯の力で、働く者を守っていかなければならない。連合に集う組合員のみならず、未組織労働者や非正規雇用労働者への波及も含めた、社会全体の賃金・労働条件の「底上げ・底支え」と「格差是正」をはかり、「経済の好循環実現」につなげていきたいと考える。本メーデーにおいて連帯を深め、更なる向上を目指し、それぞれにおける役割を果たしていく、意志結集の場としていきたい。

▼「経済の好循環実現」に向けた取り組み、春闘の勝利について、働く人々の労働条件の向上および、人材の確保・育成は、働く者のモチベーションを上げる。春闘においては、月例賃金の引き上げにこだわり、賃上げの流れを継続・定着させることを主眼に置いて生活闘争の勝利を目指し取り組みを展開しなければならない。私たちが「人への投資」を経済好循環のキーワードとして、今後も引き続き粘り強く交渉を続け、「働く者の生活向上」に向け、しっかりと結果を出していく。そのことが、未組織労働者や非正規雇用労働者への波及に繋がり、地域経済を支えていることに繋がっていく。

▼「働くことを軸とする安心社会」を目指す上で、政策制度要求の実現に向けた政治活動に取り組まなければならない。働く者の目線に立ち、しっかりと未来を見据えた政策を作り上げていくことが必要になる。それにはやはり、我々の代表を国政・県政・市政・町政の場へ送り出すしかない。そのためにも、今後行われる選挙は、我々の暮らしや仕事、平和にとって重要な意味を持つ、絶対に負けられない戦いである。我々働く者の声をしっかりと反映し、自民党と対峙できる体制の実現を強く望む。

と述べ、どのような状況であろうとも、連帯感を持ちこのつながりによって乗り越えて参りたいと訴えました。

続いて、来賓あいさつとして、連合長崎 高藤会長、国民民主党長崎県連 西岡代表、立憲民主党長崎県連 白川幹事長、社民党長崎県連 坂本幹事長、長崎県 大石知事、長崎市 鈴木市長より祝辞を賜りました。その他にも、労働福祉団体や各級議員、退職者連合の皆様など、多くの方にご臨席いただきました。

メインスローガンには『すべての働く者の連帯で自由で平和な世界と希望のもてる安心で豊かな社会をつくらう!』を、サブスローガンには7項目採択しました。

最後に『地場・中小組合春闘支援』『核兵器廃絶と恒久平和』を訴える『メーデー宣言』を連合長崎青年委員会 松永幹事が読み上げ採択し、塩田実行委員長のガンバロウ三唱で、諸課題に対して労働者が一致団結して取り組むことを確認しました。



## メインスローガン

# すべての働く者の連帯で、自由に平和な世界と希望のもてる安心で豊かな社会をつくらう!



主催者あいさつ  
塩田淑文実行委員長(連合長崎地協)



メーデー宣言採択  
連合長崎青年委員会 松永幹事

### 〈サブスローガン〉

1. すべての職場に労働組合をつくり、働くものの生活と権利を守るため発言力を高めよう!
2. 2023春季生活闘争の勝利と長崎県の最低賃金を引上げ、暮らしの底上げ、格差是正を実現しよう!
3. 労働者保護ルール改悪阻止と、社会保障制度の確立を求めよう!
4. 被災地の復旧・復興に向け、全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化しよう!
5. 日本国憲法の基調である「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義」をふまえ、我が国の平和的発展をめざそう!
6. 世界の恒久平和と軍縮をめざし、あらゆる国の核実験に反対すると共に、核兵器の廃絶をめざそう!
7. 働く者・生活者の視点に立った政治の実現に向け、来る解散総選挙に完全勝利しよう!

## 来賓代表あいさつの皆様



連合長崎  
高藤会長



国民民主党長崎県連  
西岡代表



立憲民主党長崎県連  
白川幹事長



社民党長崎県連合  
坂本幹事長



長崎県  
大石知事



長崎市  
鈴木市長

## フードドライブ

今年も、例年に引き続き会場内にて「つなぐBANK((一社)ひとり親家庭福祉会ながさき)」と連携し、フードドライブの取り組みを実施しました。

フードドライブとは、家庭などに眠っており賞味期限が切れていない食品を持ちより、支援を必要としている人たちに届ける活動です。

ご協力いただいたみなさま、大変ありがとうございました!



# 2023春季生活闘争解決促進地場組合支援交流会

5月16日(火)ホテルニュー長崎において、構成組織・単組の組合員と地協役員等、約35名が参加し「2023春季生活闘争解決促進地場組合支援交流会」を開催しました。この交流会は、春季生活闘争において地場・中小労組の激励・支援や長崎地協構成組合相互の情報共有・交流を目的に開催しています。



長崎地協 塩田議長あいさつ

はじめに主催者を代表し長崎地協 塩田議長(長崎地協春季生活闘争本部長)が挨拶を行い、「すでに妥結した組合については、過去に類を見ない大幅な賃上げを引き出している。現在交渉中である中小においてもこの賃上げの流れを波及させなければならない。また、私たちの交渉の結果を未組織の労働者にも波及させ、全ての働く者の『底上げ』を行ったうえで、経済の活性化につながる好循環のサイクルを力強く回していきたい」と述べました。

続いて、長崎地協 西野事務局長は、「2023春闘 連合長崎地協の取り組み」について報告し、「暮らしの『底上げ・底支え』『格差是正』を目指し、長崎地協全体で大きな賃上げの流れと機運を作り、地場中小組合や未組織労働者へ波及させて、最後まで粘り強く共に頑張りたい。」と述べました。

引き続き、連合長崎 種村副事務局長より連合長崎地場中小の状況として、2023春闘の交渉・回答状況について報告があり、「連合結成以来の大幅な賃上げがなされている。地場中小や最低賃金にも波及させたい」と述べました。また産別・単組の春闘の取り組みとして、交通労連・長崎バス



連合長崎 種村副事務局長



長崎バスグループ労組  
山口書記長



長崎鋼業所労組  
杉町委員長

グループ労組 山口書記長、基幹労連・長崎鋼業所労組の杉町執行委員長よりそれぞれ報告を受けました。

最後に長崎地協 松尾副議長の「がんばろう三唱」で最後まで闘い抜くことを確認し、交流会を締めくりました。



長崎地協 松尾副議長によるがんばろう三唱



# 「アジア・アフリカ支援米」田植えを実施



連合長崎では、アジア・アフリカで飢餓に苦しむ人々を救済するため、96年秋から連合長崎・各地協を通じた「米ひとにぎり運動」と「カンパ運動」を実施、97年5月から休耕田を利用した取り組みを県下各地で行っています。こうした支援田での米の収穫と、構成組織組合員からのカンパによる米の追加購入により、お米を海外に輸送しており、今年1月にも連合長崎から3,009kg(うち長崎地協で収穫分150kg)をカンボジア他へ発送しま

した。また、今年度も、長崎県内の子ども食堂(21か所)とつなぐBANK((一社)ひとり親家庭福祉会ながさき)にも寄贈しました。

今年も28年目の継続的な活動として、5月20日(土)に支援田(長崎市西海町)による田植えを行い、組合員や家族26名(大人22名、子ども4名)が参加しました。

9月には稲刈りを行いますので、多くのご参加をお待ちしています。



## 「くっくま孤児院」 (カンボジア) からの報告

今年支援米を送った「くっくま孤児院」より、お米が届いたとの報告がありました。この「くっくま孤児院」は、2016年8月に県労福協視察研修で訪問しましたが、日本人のスタッフが運営をしており、多くの子どもたちが生活しています。子どもたちは、田植えや稲刈りの写真を見ながら、お米と私たちの想いをしっかりと受けとってくれました。



## 長与町・時津町へ政策・制度要求書を提出!

5月26日(金)長与町へ、5月30日(火)時津町へそれぞれ「2023年度政策・制度要求書」を提出しました。

この要求書は、働く人・生活者の視点から長崎地協で議論し、まとめたものです。両町からの回答を基に、さらに議論を深め、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて今後も取り組みを継続していきます。



長与副町長へ手交



時津町長へ手交





# プロ野球観戦ツアー

～福岡ソフトバンクホークス VS 読売ジャイアンツ～

6月10日(土)4年ぶりとなる福岡PayPayドームでの「プロ野球観戦ツアー」を開催しました。対戦カードは福岡ソフトバンクホークスVS読売ジャイアンツ!人気のカードなだけに、県内各地協から総勢298名にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!



長崎地協・長崎地区労福協 共催

# 納涼ビアパーティー



8月2日(水)長崎地協と長崎地区労福協共催の納涼ビアパーティーを開催し、組合員はもちろん、OB、お子さんも含めて128名の方にご参加いただきました。この納涼ビアパーティーは、昨年まで新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたため、実に4年ぶりとなる開催となりました。

冒頭、塩田淑文長崎地協議長(長崎地区労福協会長)は、「コロナ禍で組合員同士の繋がりが薄くなってしまったため、久しぶりにこのようなパーティーを開催できることを嬉しく思います。日頃お世話になっている皆様へ、4年分の感謝を込めて、今日は4年分食べて飲んで楽しんでください!」と挨拶しました。

アトラクションとして、琉球国祭り太鼓様に伝統のエイサーをご披露いただき、参加者も一緒に太鼓を叩き、大いに盛り上がりいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



挨拶する塩田長崎地協議長  
(長崎地区労福協会長)



太鼓を楽しむ参加者



乾杯  
湯淺長崎地区労福協 副会長





# 熱闘！長崎地区労福協ボウリング大会！！

2月7日(火)長崎地区労福協ボウリング大会を開催しました。この地区大会は県労福協ボウリング大会の予選という位置づけで開催しています。コロナ禍により4年ぶりの大会となった今回は、各組織より20チーム60名の方にご参加いただき、とてもハイレベルな戦いが繰り広げられました。

長崎地区大会を勝ち上がった皆さんは、県大会でも上位を独占し、素晴らしい成績をおさめられました。

## 【団体の部】(県大会へ出場)

- 優勝：県職長崎支部
- 準優勝：三菱重工G労連B
- 第3位：西海市職
- 第4位：運輸労連

## 【個人の部】

- 優勝：井川 龍馬さん(三菱重工G労連B)
- 第2位：中坂 誠さん(西海市職)
- 第3位：伊木 康二さん(県職長崎支部)



# 長崎地区労福協第31回定期総会を開催！

## 総会終了後、第1回ライフプランセミナーを実施

長崎地区労福協は、6月21日(水)九州ろうきん長崎支店にて、第31回定期総会を開催しました。

長崎地区労福協は、長崎地区の勤労者の暮らしを守り福祉の充実と生活の向上をめざして、労働団体や、労働福祉事業団体と連携しながら活動を進めています。総会には、ご来賓として上部組織の長崎県労福協より松村事務局長にご臨席賜りました。

今年1年間は、コロナ禍で中止や変更した活動もありましたが、労働者福祉運動の充実を目指して取り組んだ内容を報告し、次年度活動方針、予算案

等とともに全会一致で承認いただきました。

総会終了後、第1回ライフプランセミナーを開催し、長崎県労福協の松村事務局長に講師として、「労福協の歴史と活動、他団体との関わり」についてお話をいただきました。参加者からは、「労福協についてあまり良く理解していなかったが、話を聞いてその大切さがよく分かった。」や「ろうきん、こくみん共済coopは労働者が組織したことを知らなかった。もっと利用したい」などの声が聞かれました。



会長挨拶 塩田淑文会長



ライフプランセミナー 講師 県労福協 松村事務局長